

令和6年度 北九州市立上津役小学校 学校経営方針

学校教育目標
思いやりの心を持ち すすんで学び たくましく生きる子どもの育成

上津役中学校区 めざす子ども像
『やさしく かしこく たくましく』

めざす学校像
○ 子どもが主役となる明るく楽しい学校
○ 確かな信頼で結ばれた学校
○ 進んで学び合う学校

めざす子ども像 『やさしく』
命を大切に、相手の立場に立って考える子ども

めざす子ども像 『かしこく』
自ら学び、自ら考え、自分の考えを表現する子ども

めざす子ども像 『たくましく』
健康でたくましく、最後までやり遂げる子ども

令和6年度重点目標 3つの「あ」(あいさつ・ありがとう・あきらめない)

【具体的な方策】
1 自己肯定感を高める学級経営 ～3つの「あ」～
・教室で聞こえる「あいさつ」「ありがとう」に先生が見逃さない。
・子どもの、「あきらめない」姿をみんなで認め合う。
2 互いのよさの発見
・互いに見つけた「よさ(例:温かい言葉かけ、思いやりの行動)」
・伝え合うことで達成感や成就感(自分のよさ)を味わわせる。
3 生徒指導体制の確立
・組織的かつ迅速な対応のため、
① 確実な「報告・連絡・相談」を。(危機管理意識)
② 結果の記録による共通理解。(記憶より記録)
・「指導する先生」「見過ごす先生」がないように。

【具体的な方策】
1 「できる」「わかる」授業づくりのための授業改善の推進
・基本的な学習規律の確立のため、ぶれない指導、継続的な指導。
・書く活動とICTを活用した交流や評価。
2 あらゆる教育活動における人権意識の高揚と人権感覚の育成
・確かな人権意識と人権感覚による温かい指導。同和問題、LGBT等。
・日常における学習や生活の会話の中にアンテナを高くもつ。
一時間一時間の中に教育のすべてがある
・根気強く、繰り返す。・教職員間で共通理解し、協力して臨む。
・ほめて育てる。自信をつけさせ、意欲を引き出す。
・子どもを伸ばす叱り方。その行為を叱る。先生の思いを語る。
・過去や他の人を比較しない。大声でなく毅然とした態度で。

【具体的な方策】
1 子どもの健康と安全を確保するための対応策の充実
・自分の命を自分で守る教育活動。つながりプログラム。防災教育。
・アレルギー等の対応を確実に。
・交通安全指導の徹底。緊急連絡メール、学校HPの運用と活用。
2 特別支援教育の充実
・特別な支援を要する児童の教育環境の充実と支援体制づくり。
・通常学級に在籍する、教育的支援の必要な児童の支援の工夫。
・配慮が必要な児童の共通理解。関係機関との連携。
3 全ての教職員の共通理解と協働体制のもとでの学校力の向上
・若年の育成、一人一人のよさの発揮。
・学習指導・生徒指導の協働的で多面的な関わり。

めざす教師像

- 子どもに明るく接し、温かい言葉をかける教師
- 子どものために力を合わせ、支え合う教師
- 子どもの力を伸ばすため、日々の授業を大切にする教師
- 自分の家族や家庭を大切にする教師
- 子どもとよく遊び、共に汗を流し、きびきびと行動する教師

「チーム上津役」の信頼と結束

- ◎ 互いを思いやり、明るく元気な職場で、心をつ一つにして、よりよい仕事をしよう。ワークライフバランスの充実。
- ◎ 一人にしない。一人で抱え込ませない。何でも話し合える職員室にしよう。

・教育公務員としての自覚とプライドをもち、綱紀粛正に努める。体罰は絶対に許されない。
・心と体の声を聴き、健康管理に努める。